

誰もが安心して訪れることのできる 優しい市役所の入口づくりを

自由民主党西東京市議団 佐藤 大介(さとう だいすけ)



田無庁舎のバリアフリーについて

問 田無庁舎入口は正面、側面、裏口、すべてが坂であり、移動に不安を感じる方からの声を多数いただいている。傾斜の解消、平坦なアクセスの確保、適切なスロープや手すりの設置を求めてきたが検討状況は。

答 現在、庁舎の1階と2階いずれの出入口へ向かう場合も勾配がある。転倒防止用の滑り止めテープを貼るなど、来庁者の利便性や安全性を考慮し、対応してきた。すべての市民にとって、やさしい公共空間づくりを目指し、誰もが使いやすい公共建築物となるよう必要な対応を図る。

意見 今この瞬間、困っている方が存在するという事実をどう受け止め、どう行動するかが、自治体の真価だ。田無庁舎は行政の中心であり、市の顔であり、誰もが安心して訪れるこ

とのできる場所であればならない。是非とも改善の検討をお願いする。

その他の質問

- ◇オンラインカメラの危険性
- ◇点字図書館
- ◇介護職の復職支援研修
- ◇事業承継
- ◇市の知名度
- ◇教員の働き方
- ◇中学校における柔道の授業



▲坂になっている田無庁舎の入り口

西東京ふるさと探究学習に期待すること

自由民主党西東京市議団 中川 清志(なかがわ きよし)



問 西東京ふるさと探究学習の在り方、進め方は。

答 地域を学習材とし、児童生徒が自ら課題意識を持って学ぼうとする姿を引き出し、地域への愛着を持つことができる学びの実現に向け、将来にわたりその姿勢を持ち続ける基礎をつくる。得られた成果や課題を踏まえ、次年度に生かすサイクルを確立する。児童生徒が日常生活や社会に目を向け、自らの課題や疑問に基づき課題を設定、情報の収集を行い、整理・分析、まとめ、表現することで新たな課題意識が生まれ、次の課題解決に向かっていくことを繰り返し、学びが深まっていく。総合的な学習の時間に育成する資質・能力である、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく力を育むため、探究的な学習の過程における

課題解決の活動が重要であることを教員が十分理解した上で実践を積み重ねられるよう、各学校への指導・助言のみならず、学校間での課題意識に基づく情報共有の場を設けている。今年度は、地域コーディネーターの活用を取り上げ、小学校、中学校の教員が共に、西東京ふるさと探究学習の充実を図るための手だてについて情報交換を行った。



AIの導入状況、ガイドラインは？ 田無三中の建て替えでの教育的視点を伺う

自由民主党西東京市議団 坂井 かずひこ(さかい かずひこ)



問 AI技術は急速に普及しており、全国の自治体でも様々な分野で活用が進んでいる。適切に取り入れることは業務効率化や職員の負担軽減につながる。西東京市の導入状況を伺う。また、情報管理や著作権など留意すべき点も多くある。本市では、職員が利用するに当たりガイドラインを作成しているのか。

答 本市ではシステムの更新に合わせ、生成AIを追加機能として導入する予定だ。昨年8月から庁内での試行運用を開始しており、現在アイデア出しや文書案の作成など庁内業務の様々な場面で活用を進めている。安全かつ適切に生成AIを利用できるよう、情報管理や利用時の注意点を定めたガイドラインを作成し、庁内周知を図っている。

問 田無三中の建て替えにおける教育的視点からの新しい学校づくりや、地域性や地域の特徴を生かしたまちづくり周辺課題について見解を伺う。

答 中学3年間は子どもたちにとって重要な時期になる。校庭の利用や安全性の確保など教育活動への影響も考慮し、近隣での代替施設の確保や、保護者や子どもたちへの情報提供など、可能な限り配慮しながら取り組む。



▲田無第三中学校

喫煙について市の考えを問う 歩きタバコを市内全域で防ぐための啓発を

無所属 田村 ひろゆき(たむら ひろゆき)



問 喫煙についての市の考えは。

答 喫煙や受動喫煙は、がんや循環器疾患等の生活習慣病の大きなリスクとなる。健康への影響について普及啓発を行うほか、禁煙を希望する方に対し、禁煙方法や禁煙外来の情報提供を行っている。

問 駅周辺へのコンテナ型等の喫煙所設置について、設置可能な場所は見つかったのか。

答 完全分煙施設の設置に向け、現在も引き続き調整を行っている。

問 歩きタバコ、自転車に乗りながらの喫煙は危険だ。市内全域で防ぐための周知啓発についての考えは。

答 受動喫煙防止の観点から非喫煙者への配慮や「人通りの多い場所での喫煙はやめましょう」「歩きタバコはやめましょう」といった喫煙マナーの向上に関する周知を市ホーム

ページで行うほか、路上喫煙防止地区外でも道路上に蛍光色の路面シールを貼るなどしている。

学校のトイレ環境について

問 学校トイレの環境改善に予算をつけてほしい。市長の考えは。

答 各学校を訪問する中で、子どもたちの声として聞いている。限られた財源の中でどう対応できるのか考えていきたい。



トイレカークラウドファンディング全国1位 歳入・歳出改革で持続可能な西東京市を

自由民主党西東京市議団 山田 忠良(やまだ ただよし)



シビックプライド*・市民力

問 市民が誇りと愛着を持てるまちづくりの方針は。全国1位となったトイレカーのクラウドファンディングで示された市民力を今後どのように市政へ生かしていくのか。

答 市民や団体、民間と連携し、本市の魅力向上に取り組む。寄附は高い参画意欲の表れと受け止め、今後の施策に生かす。

学校施設個別施設計画

問 建築費高騰や入札不調、設備老朽化を踏まえ、建て替えスケジュールや事業費の見直しを行うべき。

答 課題を踏まえ、適正規模・適正配置に関する基本方針の見直しと併せ、費用・期間を総合的に検討する。

問 渋谷区のようなコンストラクション・マネジメント方式*導入もリスク対策として有効では。

答 事例を調査し、検証を進める。
意見 建て替え専門部署の創設も検討していただきたい。

補助金の考え方

問 新たに策定する補助金に関するガイドラインは補助金削減が目的か、団体の自立支援か。

答 効果を高めるための適正化が目的。所管課と連携し助言等を行い、公益性の高い事業は支援する。



▲自走式水洗トイレカー

高齢者の見守り さらなる施策の充実を！ 本市の今後の取組に期待する！

自由民主党西東京市議団 とみなが ゆうじ



問 市内で高齢者が増えていく中、高齢者の見守りについては今以上に考えていかなければならない課題である。

高齢者の方々に対して、何か起きたときに備えて見守りの必要性を周知するべきだと考えるが、市の考えは。

答 一人暮らしの高齢者の方や、高齢者のご夫婦のみの世帯が安心して地域で暮らしていくためには、見守りや支え合いも重要であると考えている。

様々な生活形態の高齢者の方に対して、家族による見守りの必要性をお伝えさせていただくことは重要であり、見守りサービスに関するチラシを作成するなど、わかりやすくご案内する対応を検討していく。

意見 前向きな答弁を評価する。高齢者の皆様が市から受け取る文書、例えば「検診のお知らせ」にチラシを同封すれば、多くの方々に案内ができるので、この場を借りて要望する。引き続き啓発を進めてもらいたい。

その他の質問

- ◇物価高騰について
- ◇多文化共生について
- ◇小中学校の教育について



*シビックプライド 住民が自分たちの住む地域やコミュニティに対して抱く「誇り」や「愛着」、そして「より良くしていこう」という当事者意識を指す言葉。
*コンストラクション・マネジメント方式 建設プロジェクトの計画から設計、施工、維持管理に至る全段階で専門家(コンストラクションマネージャー)が発注者の立場に立って、コスト・品質・スケジュールの最適化を目指し、プロジェクト全体をマネジメントする手法。